

まちづくり活動支援事業補助金事業計画書

令和6年 8月20日

刈谷市長

申請者 団 体 名 散歩愛好会

1 団体概要

活動目的	散歩を通して、会員個々の健康増進及び日々の活力向上を図るとともに、散歩における地域住民との関わりを通して、地域のつながりの強化を図ること。		
主な活動内容 これまでの実績	各々が散歩を楽しむこと。 散歩の効能を発信すること。 散歩時に、会員各々が防犯パトロールを意識して地域を見回しながら歩くこと。 散歩時に会った人には積極的に挨拶をし、顔見知りになること。 ※活動開始直後の団体は、今後予定する「主な活動内容」のみの記載で差し支えない。		
主な活動場所 エリア	☐ 市外（ 市） ☒ 市内（ ☐ 全域 ☐ 北部 ☒ 中部 ☐ 南部 ☐ _____町）		
設立年月日	令和6年 7月 1日		
会員数	20名	財政状況	（昨年度収入額）約 0 万円
申請回数	☒ 1回目 ☐ 2回目 ☐ その他（ 回目）		

2 事業内容

事業名	地域見守り散歩
事業の目的 ねらい	（誰がどんな状況になるために／どんな課題をどう改善するために事業を行うのか） 散歩における地域住民との関わりを通して、地域の防犯力の強化や、災害時に備えた顔の見える関係づくりの一助となること。
事業内容	（「いつ」「誰が」「どこで」「誰を対象に」「何をするか」「どんな方法や工夫を用いるのか」を具体的に） 毎朝（7時～9時）、毎夕（17時～19時）散歩愛好会の会員が以下に気を付けながら散歩をする。 ・防犯パトロールを意識して地域を見回しながら歩く。 ・散歩時にすれ違う人には積極的に挨拶をする。 SNS等での発信に加え、近隣住民あてのチラシ（散歩が健康にもたらす効果や、散歩の“ついで”のちょっとした意識が防犯や減災につながる旨を記載）を作成し、地域の回覧板や戸別配布により周知をすることで、活動の協力者を募り、輪を広げる。 また、活動初期は地域住民の理解や信用を得るため、ピブスやタスキ等一見して活動中であることが分かるアイテムの作成を考えている。

課題解決への思い 協働相手とのつながり (主体性・協働性)	(なぜその課題に取り組もうと思ったか、団体の活動実績や資源をどう活かすか) 昨今、地域のつながりの希薄化が進んでいる。つながりの希薄化は、地域における治安の悪化や、災害時の被害拡大にも影響すると考えるため、日課や趣味である散歩を通して、何か地域に貢献できないかと考えた。	
	(さまざまな市民や団体の参加・つながりについて工夫すること／協働相手との役割分担) 地域の防犯パトロール隊と時間を合わせて散歩をすることで、地域の目を増やす。 福祉委員会（担当民生委員含む）や自主防災会と定期的に会合を開き、散歩時に気になった点を共有することで、地域福祉・地域防災に役立てる。	
市民に対する 事業効果 (公益性)	(事業の実施により、周りの人たちにどのような共感や協力が広がるか) 地域内を行き交う住民や、挨拶・雑談をする住民が増えることで、自身の地域に活気を感じられる。 また、日常の気軽な行動が地域力の強化につながることを知ることで、活動開始へのハードルを下げる効果が期待できる。	
事業の特徴 アピールポイント (独創性・先駆性)	(事業の特徴、この事業でアピールしたい点について) 日課や趣味の“ついで”に活動することで、実施者の負担が少なく、始めやすい点。 負担が少ないにも関わらず、中長期的に大きな効果が期待される点。	
事業計画 スケジュール (実現性)	時期 (月)	内容（準備、当日、記録づくり等、事業の流れがわかるように）
	毎朝夕 4月 5月	日課や趣味の“ついで”に挨拶及び地域内パトロール ビブスもしくはタスキのデザイン案作成、発注 完成後着用して活動 チラシのデザイン案作成、印刷依頼 完成後回覧板や戸別配布
事業後の展望 (発展・継続性)	(提案事業の継続や発展について／今後刈谷市内でどんな取り組みを行う予定か) 毎日の活動により地道に共感者・協力者を増やし、見守り散歩が地域に根付くよう、取り組みを続けていく。 将来的には、地域全体で一斉に朝散歩をするイベントの実施や、他地域にも取り組みを紹介して刈谷市全域へ輪を広げていく取り組みにも力を入れていきたい。	

※この事業計画書に記載しきれない場合は、記載枠の拡大や別紙の添付を行い対応してください。

※団体の会員名簿を添付してください。